

4,537,890 円÷4000(小数点以下切り捨て)×4000×0.8-440,000 円=3,188,800 円・・・(A) 控除額(扶養760,000+特定扶養250,000+特別障害者400,000+基礎控除振替100,000)=1,510,000 円・・・(B) (A)-(B)÷12=139,900 円(月収額)

住宅困窮状態(該当する番号に〇印をつけてください。)

	_~,	人思 (該ヨッる番方にUPIをプリてくたさ	• 0	/			
項目	No.	困 窮 理 由	項目	No.		困 窮 理 由	
	1	極度に老朽化した建物で保安上危険である	間借	18	共益費、駐	車場代は 屋を借りている。	
	1	住宅に居住		19			
	2	相当程度老朽化した建物に居住	別	20			
不	3	水害やがけ崩れの危険のある住宅に居住	居	21	扶養すべき親族と加え		
良	4	日照・通風が不良	7		月額家賃 80,000 円		
	5	衛生上不適当な馬 家賃÷月収額×100		22		80%以上	
住	6	応急仮設住宅又/	賃	23	月額家賃が	60%以上80%未満	
宅	7	専用の台所がない。	N. P.	24	月収額の	40%以上60%未満	
	8	専用の便所がない。	ĺ	25		30%以上40%未満	
	9	専用の浴室がない。	通勤	26	通勤に要する時間が往復で4時間以上		
過	10	1人当たり居住面積1畳以内	婚約	27	婚約が成立したため住宅を必要とする。		
密	11	1人当たり居住面積2畳以内	処	28	競売によりやむを得ず自己の住宅を手放す こととなった。		
住宅	12	1人当たり居住面積3畳以内	分	40			
七	13	居住部屋が1部屋のため環境上不適当	そ	29	住宅困窮理由海	が上記以外の場合、記入してください。	
	14	公共事業の執行による立退き	\mathcal{O}				
立退要求	15	判決・調停条項による立退き	他				
	16	家主から立退きを求められ紛争中	0)				
	1.77	- 17日 キャ 亜 4 キャ 2 ア 1 7 7	事				
	17	立退きを要求されている。					

- ※ No.10~12の計算方法は、居室部分の面積 (6畳二間なら12畳)を世帯人数で割って下さい。 (居室部分には、台所・便所等は含まない。)
- ※ No. 22~25 における月収額とは、申込書(表)右下欄に記載された金額のことです。

住宅状況申告書(該当項目の□にチェックをしてください。)

	REPORT A JOE OCCUPATION OF THE PROPERTY OF THE						
質問欄	申 込 者 記 入 欄						
困窮状態1~13 に該当する方は特	住 居 □ 世帯 □ 世帯 □ 世帯 □ 世帯 □ 親兄弟の家 □ 公共住宅(県営・市営・) □ その他()						
に注意して記入	建築年数 □1~5年 □6~10年 □16~20年 □21~25年 □26~30年 □31~35年 □36年以上						
 現在の住宅状況	構造						
2017 ^2 17 - F-4/1/10	階数 虚偽の申請があった場合は失格となります。						
	間取り 特に <u>家賃</u> については賃貸借契約書等を必ずご確認の上、 ご記入ください。						
	面 積 不明な場合はお問い合わせください。						
	*現在の住 し水ルに 						
その他							
抽選優遇資格の詳細は 10 ページ「5 抽選における優遇制度」をご覧ください。							
抽選優遇資格申告欄(優遇資格のあるカは該当 <u>する</u> 項目すべてに○をつけてください。)							
立退要求 母子分	父子 高齢者家族 [障害者] 高齢者 DV [落選] その他						